

# 日本計量新報

計測と科学  
日本計量新報社  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

Yamaha  
清潔な環境を創造する  
安全給水装置・電子レンジ・自動販売機



UDS-1VII/N-WP  
天和製衡株式会社  
TEL: 03-6381-8577

## 6月の計量計測機器生産

# 電気計測器7.5%増、精密測定機器9.8%増

### 分析機器は7.8%増

経済産業省が8月11日に公表した6月の機械統計情報によると、計量計測機器の生産額はおもなところで前年同月比で増えたのは、電気計測器は7.5%増、精密測定機器9.8%増、分析機器で7.8%増、ガスメータが38.5%増、工業用計重機3.1%増、である。減ったのは医用測定器21.6%減、試験機1.9%減、測量機器3.0%減。6月は計量計測機器の生産額は明暗が分かれている。

電気計測器は555億7900万円

電気計測器の6月の生産額は機械統計情報では534億3700万円。(注)日本電気計測器工業会のまとめでは、555億7900万円(集計項目が少し異なるため)。工業会のまとめによると電気計測器が390億100万円(前年同月比8.5%増、以下カッコ内は前年同月比)。電気測定器の内訳を見ると、電圧・電流・電力測定器は9億8400万円(14.7%増)、波形測定器13億400万円(13.8%減)、無線通信測定器14億8900万円(27.2%減)、回路素子・材料測定器3億6500万円(2.4%減)、伝送特性測定器10億8500万円(18.7%

0%増)、光測定器7億200万円(102.9%増)、測定用記録計・データ処理装置8億2000万円(16.2%増)、その他の電気測定器49億1500万円(7.8%増)である。

半導体・IC測定器は8.6%増

生産金額で電気測定器の69.9%を占める半導体・IC測定器は6月は伸びが鈍ったが、生産金額は272億7500万円(8.6%増)である。前月比では21.4%増。6月の生産数量は1035台。このなかではメモリICテストの生産額が111億6200万円(20.2%増)と、半導体・IC測定器の40.9%を占める。電気計測器の工業用計

測制御機器は106億7300万円(2.9%増)。前月比23.0%増。だんだん増えてきている。内訳は、プロセスオートメーション用計測制御機器104億7400万円(4.1%増)、ファクトリーオートメーション用計測制御機器1億9900万円(35.2%減)。電気計器は37億6300万円(11.1%増)5月以降増えてきている。内訳は、指示計器が5億3800万円(30.3%増)、電力量計が32億2500万円(8.5%増)。放射線測定器は5億9700万円(31.2%増)。環境計測機器は15億4500万円(0.6%増)。

医用測定器は57億5200万円

医用測定器は57億5200万円の生産で前年同月比21.6%減である。前月比1.0%減。数量は23万3597台(23.7%減)で、前月比39.5%減。精密測定機器は112億7200万円(9.8%増)。内訳は、工業用長さ計(ゲージ、ノギス、

マイクロメータ、ダイヤルゲージ)が34億1200万円(前年同月比5.6%増。前月比で17.7%増。生産数量は57万2893台(前年同月比7.5%増)。



精密測定機(光学測定)

精密測定機(光学測定機を含む)は、78億6000万円(前年同月比11.9%増。前月比4.0%減。生産数量は3万3340台(17.5%増)。精密測定機器の2006年第1四半期(4月~6月)は、327億6500万円(12.1%増)で、06年度も好調を維持している。

積算体積計は68億1700万円

積算体積計の6月生産金額は、68億1700万円。このうちガスメータは35億2600万円(前年同月比38.5%増)となった。生産数量は34万4956個(32.7%増)。その他の積算体積計を見てみると、水道メータは16億6200万円。積算

式ソリン量器は16億2900万円。圧力計(アネロイド形)は、11億5800万円。

工業用計重機は3.1%増

工業用計重機は28億8700万円(前年同月比3.1%増)となった。生産数量は1662台(7.4%減)。

分析機器は129億6000万円

分析機器は129億6000万円(前年同月比7.8%増)となった。前月比では29.5%増。生産数量は2万4751台(1.2%減)。内訳は、分析機器19億4000万円、電磁気分析機器(X線解析装置を除く)24億9400万円、クロマト・分離・蒸留機器23億3800万円、その他の分析機器61億8800万円。

試験機は1.9%減

試験機は20億3200万円(1.9%減)となった。前月比は4.5%増。生産数量は612台(7.0%減)。内訳は、材料試験機14億9000万円、動的試験機・構造物試験

経済と経営観測アンケート③②面  
測量機器は19億8000万円

測量機器は19億8000万円

測量機器は19億8000万円(前年同月比3.0%減。前月比は0.4%増。数量は1万289台(11.0%減)。内訳は、トランシット・レベル(水平器・ハンドレベルを除く)4億8900万円、光波測距儀14億9100万円。

07年度も景気回復が続くと予測

主要な民間調査機関の2006、2007年度の経済見通しを見ると、実質成長率の予測の平均は、06年度は2.5%、07年度は2.0%となっている。

経済は拡大テンポは鈍るが、堅調な国内民間需要を背景にして景気回復は継続すると予測している。11月には戦後最長の「いざなぎ景気」を抜き、07年度も回復が続くとしているものが多い。(詳細は次号以下)

### 今週の主な記事

- ① 6月の計量計測機器生産額
- ② 経済と経営観測アンケート③
- ③ 計量制度見直し説明会、計連連日ほか
- ④ 寄稿・川西勝三氏、野口泰助氏、新井昭男氏
- ⑤ 寄稿・渡辺英夫氏、第14回品質工学研究大会報告
- ⑥ 計連アンケート結果、資料計量標準の供給開始と校正機関の拡充
- ⑦ 寄稿・齊藤勝氏、社説
- ⑧ 新製品ニュース、A&Dオープン試験室設置
- ⑨ ミットヨネ正輸出、ユニバース人事、三重計量士会報